

第2214回例会

7月15日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
会員 永井 紀久 君
「私の名刺」
2. 出欠
出席 27名 欠席 15名
3. ニコニコボックス
水巻君、喜多君



北陸地方に梅雨明け宣言ができました。コロナの感染、熱中症にも気を付けましょう。本日の講話は会員の永井さんです。楽しみにしています。

永井君 卓話緊張しますががんばります。

合計 5,000円 (累計 41,000円)
7月出席率 %

会員開発委員会

「退会防止対策ディスカッション」

7月28日(木) / 12:30 ~ [於リシュマリアローズ]

呈茶、昼食をとりながらのシンポジウム形式のフリートーク

パネラー 水巻会長、中村(實)直前会長、畠クラブ管理運営統括委員長、木下会員開発統括委員長
進行 吉井修練・研修委員長
参加者 入会2年未満会員、男網会員開発統括副委員長、喜多幹事



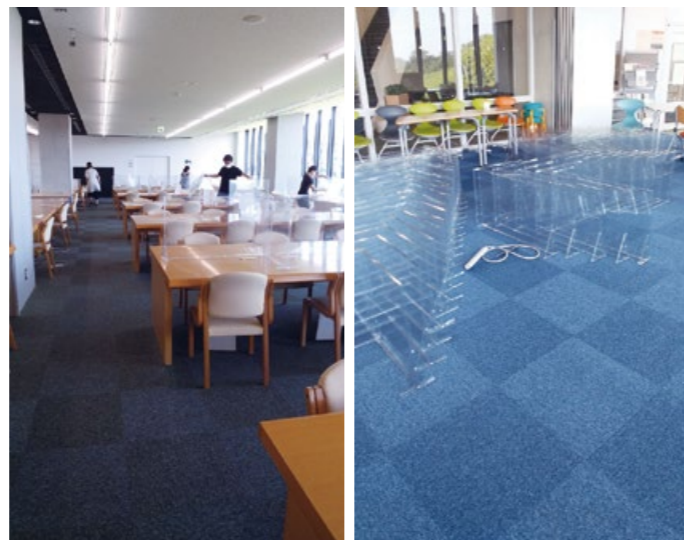
奉仕プロジェクト委員会 「コロナ対策パーティション寄贈」

8月2日(月) [於金沢大学自然科学系図書館]

前年度からの継続事業として馬場化学工業様(馬場賛会員)の協力により特注品のパーティション94台を寄贈しました。ちょうど試験期間中に設置が間に合い、より多くの学生を受け入れられるようになったと喜んでいただきました。

贈呈式は10月にあらためて執り行う予定です。

なお、1回目(5月)の報告が「ロータリーの友」8月号(ロータリーアットワーク)に掲載されています。



9月、10月予定

随時 FAX、メール、ホームページ(URL:<https://kanazawa-north.jp/>)でお知らせいたします。

金沢市内 RC の例会変更は各クラブホームページでご確認いただくか、事務局へお問い合わせください。

- 会長/水巻 啓光 ●会長エレクト/小泉 幸雄 ●副会長/山上 公介
- 幹事/喜多 利行 ●副幹事/木村 康徳 ●会場監督/野村 眞一郎 ●会計/松田 光代
- クラブ会報委員長/的場 晴次

- 会員数 / 42名 ●クラブ設立 / 昭和48年10月3日
- 例会日 / 木曜日 12:30 ~ 13:30
- 例会場 / 松魚亭 金沢市観音町3-4-45 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273

Rotary  KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ



発行 2021.9.16thu

No. 978

事務局/金沢市大手町15番15号 金沢第2ビル4階
TEL:076-254-6368 FAX:076-254-6395
E-mail:office@kanazawa-north.jp
HPアドレス:<http://www.kanazawa-north.jp>



コロナの影響の中で

会 員 伊東 尚毅

7月30日「石川県にまん延防止等重点措置適用を決定、期間は8月2～31日」のニュースが流れ、「またか!」「同じことの繰り返し」「いつまで我慢すればいいのか」飲食業界・酒類業界に衝撃が走りました。県は前回の重点措置適用期間中(5月16日～)、飲食店に対して金沢市内は午後8時まで、他市町は午後9時までの営業時間短縮、酒類提供については金沢市内に終日自粛を要請。その要請が6月14日解除となり、少しずつ飲食店に賑わいが戻りつつある中での発表でした。

まん延防止発表前、県では7月31日以降、感染対策の認証を受けた店舗に限って酒類提供を条件付きで認めるとし、これまでの飲食店一律に全てダメから一歩進んだ対策となり、飲食店の皆様は前向きに安全対策の準備を進めていらっしゃる矢先の事だけに愕然としました。

緊急事態措置が続く東京では1～8月末迄で緊急事態・まん延防止宣言期間は215日となり、宣言等なしは28日と今年のほとんどが営業制限を受けており、直近7月の業務用酒販店様の売上高は前年比20～40%減、2019年比は50～70%減と非常に厳しい状況が続いています。

酒類メーカー営業として飲食店様・酒販店様・卸店様と日々接しお取組みをさせていただいていただく中、こうした状況は本当に辛く、長年営業され地元の皆さんに愛されてきたお店や地域

を代表する素晴らしいお店がやむなく閉店される場面にあたっては胸が締めつけられる思いで一杯になりました。

一方で恐怖・失望・怒り・苦渋・呵責・感謝さまざまな感情が渦を巻きながらも「お客様のため」「従業員のため」「生産者のため」・・・お店の継続に向けて尽力されている姿に心を打たれると共に逆に元気をいただく事も沢山ありました。

コロナにより大きな打撃を受けている業界ではありますがサントリーとしてお得意先に寄り添い必ずこの苦境を乗り越えていきたいと改めて強く思っています。

コロナ禍、営業及び酒類提供自粛に加え、「不要不急」という言葉に飲食店様は厳しい環境におかれています。「魂」のために必要なものであると思います。おいしい、楽しい、うれしい、元気が出る～心が動くのは命が喜んでいる証拠であり、人が人らしく生きている瞬間だと思います。

そして美味しい食事とお酒は、人と人とのコミュニケーションにおいても必要なものであると思います。

早く日常が戻り、金沢北RCの皆様と楽しくご一緒出来る時を心待ちにしています。

「コロナ禍で一人、酒を飲む歌」

会 員 的場 晴次

月下独酌 李白

花間一壺酒
獨酌無相親
舉杯邀明月
對影成三人
月既不解飲
影徒隨我身
暫伴月將影
行樂須及春
我歌月徘徊
我舞影零亂
醒時同交歡
醉後各分散
永結無情遊
相期遙雲漢

花間(かかん)一壺(いっこ)の酒、
独り酌(く)んで相(あい)親しむもの無し。
杯(さかずき)を挙げて名月を迎え、
影に対して三人と成る。
月既に飲(いん)を解(かい)せず、
影徒(いたづら)に我が身に随う。
暫(しばら)く月と影とを伴い、
行樂(こうらく)須(すべか)らく春に及ぶべし。
我歌えば月徘徊(はいかい)し、
我舞えば影零乱(りょうらん)す。
醒(さ)むる時ともに交歡(こうかん)し、
酔うて後は各々(おのおの)分散(ぶんさん)す。
永く無情(むじょう)の遊(ゆう)を結び、
相期(あいき)す遥かなる雲漢(うんかん)に。

現代語訳

月下独酌 李白

花の咲き乱れるところに徳利の酒を持ち出したが
相伴してくれる者もない。

そこで杯を挙げて名月を酒の相手として招き、
月と私と私の影、これで仲間が三人となった。

だが月は何しろ酒を飲むことを理解できないし、
影はひたすら私の身に随うばかりだ。

まあともかくこの春の間、
しばらく月と影と一緒に楽しもう。

私が歌えば月は歩きまわり、
私が舞えば影はゆらめく。

しらふの時は一緒に楽しみ、
酔った後はそれぞれ別れていく。

月と影という、この無情の者と永く親しい交わりをして、
遥かな天の川で再会しようと約束するのだ。